

「就任後の雑感」

う蝕学分野教授 野杵由一郎

新潟大学歯学部同窓会 女性会員支援部の会員の皆様、お久しぶりでございます。この度は、「新任教授はじめまして」のコーナーへの寄稿の機会を頂き、誠に有難うございます。“新任教授はじめまして”のコーナーではありますが、一度同窓会員の先生方には同窓会誌の紙面を頂戴してご挨拶いたしましたので、この度は、その続きを寄稿いたします。

という事で、話が繋がらない、不明な部分がある場合には、歯学部同窓会誌 37 巻（平成 29 年 3 月号：教授信任挨拶）を確認いただければ幸いです。

教授就任後 2 年と少しが経過し、新潟でいかに過ごすか？、いかに仕事をするか？などでこの 2 年の間で明確になったこと、変わったことについて前回のご挨拶に続く雑感として、少しご紹介したいと思います。

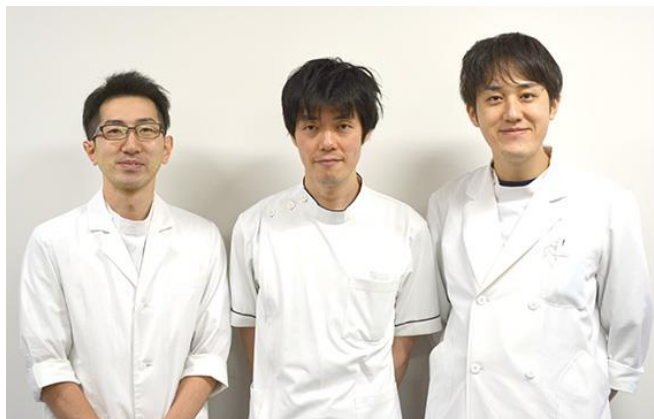
右の画像は、この 1 年程まえから、講演会で話す際冒頭のスライドとして頻用しています。お笑いで言う掴みとして、『この 3 人は何繋がりでしょうか？答えは二つあります。』と問いかけています。二つとも答えられた方はまだいらっしゃいません。歯学部同窓会誌 37 巻をお持ちの先生は、読み直してください。正答にたどり着くはずです。“おじさん繋がりというのは、外れです。”平尾さんは既にこの本の出版時には、故人となっており、おじさんではありません。会誌をお持ちでない先生方の為に、正答を公表します。ひとつ目は、“同級生”です。（山中先生と私が寅、平尾氏が兎です。）ふたつ目は、“大学時代にラグビーをしていた。”になります。山中先生が神戸大学医学部で、私が徳島大学歯学部で、平尾氏は同志社大学でそれぞれラグビーをしていました。それぞれの戦果・戦歴については触れないでおきましょう。開きがありすぎます。



2 年が経過し、こんな余裕も出てきました。しかし、教室運営が何もかも理想的に進んでいるわけではありません。新大への移動の際から一番の難題と考えていたヒトの問題については、他の教室に比べると比較的スムーズに進んでいるようにはみえますが、若いヒトが思った以上に集まらないのは、将来的には致命的な問題になると睨んでいます。同窓会誌 37 巻の集合写真から 3 人、4 人と教室を去り、その埋め合わせが他大学から新入教室した女性大学院生 2 名に留まっており、いわば緊急措置として今年の 10 月から男子留学生を 2 名加えることになりました。かねがね、“ヒトは力なり”と考えている私にとってリクルートがうまく進まないことはそれなりのストレスにはなっています。来年の 4 月には、私が就任後 3 年生から卒業まで講義・実習する学生が初めて 6 年生となります。来年度のリクルー

トには淡い期待を持っています。“教授信任挨拶”にも記載いたしましたが、今どきの学生さんは、安定志向が強く、山の物とも、海の物ともわからない処には、中々寄り付こうとしてくれません。特に男子学生かなあ〜。教室としては、フロンティア期を早々に切り上げて、成長期に変化するところ出来るだけ早期に移行していきたいと考えております。新大歯学科学生の女性の割合（6年生）が5割以上となった昨今です。女性の先生方の入教室も大いに期待しています。それを見越してという訳ではありませんが、この2年で3名の若い新大出身の男性教員（助教）を採用しました(図)。（左から大墨、大倉、枝並の各助教）

右の写真は、2018年3月号のクインテッセンスの医局紹介のコーナーで、将来の“医局のエース”として紹介された3名です。このようなダイヤモンドの原石を後10年かけてどこまで磨き上げるか、試されているような気配さえ感じています。



大阪大学の准教授時代には、歯科保存学教室（保存科）の中で1年間

に、7名もの産休・育休者を出し、副科長として阪大歯学部附属病院長とのヒアリングでは、診療科の病院収入等の目標実績の下方修正を直訴したこともございます。インセンティブは全て外されましたが。そういう意味では、もう少し女性が増えてもいいのではと感じています。

この3名に話を戻しますが、各々新規治療法開発等の臨床研究のテーマを持ち、それぞれの大学院生の指導に精進しています。大墨君は根面う蝕やバイオフィルムと全身に関する臨床研究を、大倉君と枝並君は、それぞれフィブリンゲル(CGF)を併用した歯根端切除術の多施設臨床研究と、高周波根尖療法(根尖病変部に電磁波を照射)の多施設臨床研究を行っています。後者の2つの研究は、特に近い将来の高度先進医療導入からの保険収載を目指したものであり、先生方にも近々使用して頂ける治療法（特に高周波根尖療法）ではないかと考えています。

まだまだ、教室は人材以外にも運営資金の問題、出張先の問題等も抱えています。しかし、この2年、着実に前への歩みを始めています。纏まりのない文章になりましたが、雑感という事でお許しください。最後に新潟大学歯学部同窓会 女性会員支援部の会員の先生方に、今後のご支援とご鞭撻をお願いし、本稿を閉じさせていただきます。今後とも宜しく願い致します。